

利用用途ごとの要求品質その1(工事間利用が主となる利用用途)

参考資料1-6-1

用途	工作物の埋戻し	土木構造物の裏込め	道路用盛土		河川堤防		土地造成		鉄道盛土	空港盛土	水面埋立	
			路床	路体	高規格堤防	一般堤防	宅地造成	公園・緑地造成				
用途ごとの要求品質	材料規定	最大粒径	50mm以下 ①-1	(100mm以下) ②-1	-	-	100mm以下 ⑤-1	(150mm以下) ⑥-1	100mm以下 (転石300mm以下) ⑦-1	-	300mm程度 ⑧-1	-
		粒度	Fc:25%以下 ①-1	(砂礫分以下:25%以上) (Fc:25%以下) ②-1	-	-	φ37.5mm以上の混入率40%以下 (望ましい粒度組成は⑤-5参照) ⑤-1	(Fc=15~50%) ⑥-1	φ37.5mm以上の混入率40%以下 ⑦-1	-	-	-
		コンシステンシー	-	(PI:10以下) ②-1	-	-	-	-	-	-	-	-
		強度	規定のCBR以上	圧縮性の小さい材料 ②-1	規定のCBR以上 ③-1	-	qc:400kN/m2以上 ⑤-1	-	qc:400kN/m2 場合により qc:200kN/m2 ⑦-1	-	上部盛土について K30≥70MN/m3 ⑧-2	-
	施工管理規定	施工含水比	監督員の指示	最適含水比とDc90%の得られる湿潤側の含水比の範囲 ②-2	最適含水比とDc90%の得られる湿潤側の含水比の範囲 ③-1	最適含水比とDc90%の得られる湿潤側の含水比の範囲 ④-1	最適含水比より湿潤側で、規定の乾燥密度が得られる範囲 ⑤-2	Dc:90%以上の締固め度が得られる湿潤側の含水比の範囲 ⑥-2	最適含水比に近い状態 ⑦-2	-	Dc90%以上が得られる範囲 ⑧-3	最適含水比付近 ⑨-1
		締固め度	Dc:90%以上 ①-2	Dc:90~95%以上 ②-2	Dc:90~95%以上 ③-1	Dc:90%以上 ④-1	RI計器: 締固め度平均値 Dc:90%以上 砂置換法: 締固め度最大値 Dc:85%以上 ⑤-3	平均締固め度: Dc:90%以上 締固め度最低値 Dc:80%以上 ⑥-3	RI計器: Dc:87%以上 砂置換法: Va:15%以下 ⑦-3	-	Dc90~95%以上 ⑧-3	90%以上 ⑨-1
		空気間隙率または飽和度	-	-	-	粘性土 Va:10%以下 Sr:85%以上 砂質土 Va:15%以下 ④-2	粘性土 Va=2~10% Sr=85~95% 砂質土 Va:15%以下 ⑤-3	粘性土 Va=2~10% Sr=85~95% 砂質土 Va:15%以下 ⑥-4	RI計器: Va:13%以下 砂置換法: Va:15%以下 ⑦-3	-	粘性土 Va≤10~15% ⑧-3	Sr=85~95% Va=1~10% ⑨-1
		1層の仕上り厚さ	30cm 路床部 20cm以下 (路床部については③-1を参照のこと) ①-3	20cm以下 ②-2	20cm以下 ③-1	30cm以下 ④-3	30cm以下 ⑤-4	30cm以下 ⑥-5	まき出し厚さ 30~50cm ⑦-2	-	30cm程度 ⑧-3	一般的な土工:30cm以下 空港高盛土等:試験施工の成果を設計・施工に反映させるものとし、まきだし厚さ、土砂:10~50cm、軟岩:30~50cm、硬岩:最大粒径の1.5倍程度ただし1m以下 ⑨-2、⑨-3
		その他	-	-	-	-	qc:400kN/m2以上 ⑤-3	-	-	-	-	-
	基準等	建設省: 「建設省総合技術開発プロジェクト建設事業への廃棄物利用技術の開発報告書」,昭和61年3月 社団法人日本道路協会: 「道路土工-施工指針 改訂版」,昭和61年11月 社団法人日本道路協会: 「道路土工-カルパート工指針」,平成11年3月	社団法人日本道路協会: 「道路土工-施工指針 改訂版」,昭和61年11月	社団法人日本道路協会: 「道路土工-施工指針 改訂版」,昭和61年11月	社団法人日本道路協会: 「道路土工-施工指針 改訂版」,昭和61年11月	財団法人リバーフロント整備センター: 「高規格堤防盛土設計・施工マニュアル」,平成12年3月	財団法人国土開発技術研究センター: 「河川土工マニュアル」,平成5年6月	都市機構「基盤整備工事共通仕様書施工関係基準」平成16年7月	運輸省鉄道局監修 鉄道総合技術研究所 編「鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物」平成4年10月	-	財団法人港湾空港建設技術サービスセンター「空港土木工事共通仕様書」,平成16年4月 財団法人港湾空港建設技術サービスセンター「空港土木施設施工要領」,平成11年9月	社団法人日本港湾協会 港湾の施設の技術上の基準・同解説
	備考								施設等の特性により必要な諸元を選定する。		施設等の特性により必要な諸元を選定する。	施設等の特性により必要な諸元を選定する。

※)実際の適用にあたっては、利用側で定められている諸基準等にしがうこと。なお、RI計器とは、放射性同位元素(radioisotope,RI)を利用して土の湿潤密度および含水量を測定するための計器である。

凡例 Fc:細粒分含有率 PI:粘性指数 qc:コーン指数 Dc:締固め度 Dc:平均締固め度 Va:空気間隙率 Sr:飽和度 -:特に規定なし ( ):望ましい値

○付数字は、参考資料1-1別紙の資料番号を示す(要求品質基準値の出展資料での記載内容)